

平成29年度「市長と語り合う会」について

1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
11月27日（月）	都茂地区振興センター	19:00～20:00	8	6	14

○市側出席者

市長、副市長、政策企画局長、総務部長、秘書広報課長

2 会の概要

○開会（秘書広報課長）

- ・ 会の趣旨説明
- ・ 出席者紹介

○あいさつと市政運営の説明（山本市長）

平成29年度施政方針

① 企業との連携

施政方針の大きな柱の一つとして、地元企業との連携を強化することを掲げている。

これに基づいて今年度の当初には、従業員の子育てを支援していただける企業について「子育て応援宣言企業」、また、UIターン者の定着に力を入れて取組む企業について「UIターン者サポート宣言企業」とう2つの登録制度を創設した。また、年度半ばには、市が進める自転車によるまちづくりやサイクリストの誘客に協力いただける企業の登録制度を設け、現在こうした企業との連携による制度は3本立てになっている。

今後こうした取組をさらに進め、益田市が「働きやすい」、「子育てしやすい」など色々な面で活躍しやすいまちであるということアピールしていきたいと思っている。

② 空港利用拡大

本年の大きな課題は、来年3月に期限を迎える東京線の2往復運航継続の是非で、特に、平成28年度の利用実績が悪かったことから、本年度は「何とか2往復運航を勝ち取ろう」と市を挙げて取組んだ。おかげをもって、夏以降の利用が好調であったことに加え、9月には島根県が「東京線利用促進対策会議」の立ち上げや「空港利用促進対策室」の設置等、取組体制を強化したことなどが評価され、10月上旬にさらに2年間の継続運航が決まったところである。

この空港利用については、飛行機を利用される方にメリットがあるのは勿論のこと、それ以外にも産業や観光振興、医療体制の充実など様々な面で恩恵があるものと考えている。今後はさらに利用拡大を図り、島根県や関係市町の財政支援がなくてもビジネス利用や観光利用など飛行機利用が進むよう基礎需要の拡大に努めていきたい。

③ 東京五輪キャンプ誘致について

2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける自転車ロードレース競技の事前キャンプ誘致を進めている。これは、ここ数年、市内でINAKAライドやチャレンジャーズステージなどの競技が定期的開催され、自転車競技に対する機運が高まっていること、また、本市の道路環境が自転車のロードレースに適しているとの評価をいただいていることによる。

具体的な誘致国については、松江市が友好的に交流されているアイルランドと、旧匹見町が姉妹都市として交流していたワカナという町があるニュージーランドの2カ国を軸に絞り込みを進めている。

誘致が実現した際には、益田市の知名度向上やスポーツの振興、交流人口の拡大などに加え、オリンピック・パラリンピックの持つ崇高な精神に市民の皆さんが触れることのできる素晴らしい機会になると考えている。

- 意見交換
質問項目は以下のとおり。詳細は、別紙のとおり。

- ① 美都支所の職員体制について
- ② 市営住宅の処分について
- ③ みと自然の森への通行ルート等について
- ④ 都茂公民館について
- ⑤ 市道都茂市金線について
- ⑥ 旧県立益田工業高校の跡地利用について
- ⑦ 中山間地域対策について

- 閉 会 （秘書広報課長）

平成29年度「市長と語り合う会」

〔会場 都茂地区振興センター〕 開催日時：平成29年11月27日（月）19:00～20:00

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 美都支所の職員体制について 市道の維持管理体制について、市本庁には6名、匹見支所には2名の専門職員が配置されているが、美都支所にはその配置がないため、建設課の職員が通常業務と兼ねて対応する状況にある。万が一の事態に備え、美都支所にも専門の職員を配置するようお願いしたい。</p> <p>② 市営住宅の処分について 市営朝日住宅の老朽化等により入居者も減少するなか、空き家対策として住宅の集約を行い、用地の売却を検討してはどうか。住宅の処分にかかる補助制度上の制約はいつまでなのか。</p> <p>③ みと自然の森への通行ルート等について みと自然の森へ車で移動する際、カーナビや現行の案内標識では道幅の狭い旧道へ誘導され、訪れた人から「こんな道の狭い所なら二度と来たくない。」という話を聞く。実際には秦記念館側から侵入するルートの方が道幅も広く通行しやすいことから、案内標識の取替えを検討してはどうか。 また、周囲の草刈りについて、現状の年1回ではすぐに草が生え、車の走行に支障をきたす状況があるので、回数を増やすか除草剤を使用するなど対応を検討してほしい。</p> <p>④ 都茂公民館について 現在、都茂公民館がふれあいホールみとの施設を間借りしている状況にある。別の場所に公民館を建てるのは財政的に困難だと思うので、公民館とふれあいホールみとが施設を兼ね、公民館長が双方の施設を管理する総括責任とした方がやりやすいと考えるがいかがか。</p> <p>⑤ 市道都茂市金線について 市道都茂市金線の改良工事が応急的な対応に止まり、なかなか前に進んでない。せめて、いつごろから工事が始まるのかなど今後の見通しだけでも教えてほしい。</p>	<p>①現在は総合支所の見直しを進めるところであるが、業務の内容によっては益田、美都、匹見といった地区単位ではなく、市全体として考えなければならぬ問題もある。指摘の点を受け止め、今後の課題として検討したい。</p> <p>②補助制度上における市営住宅の建替え及び用途廃止は、基本的に耐用年数の1/2に相当する年数が経過していれば可能となる。朝日住宅は建設から41年が経過しており、当該住宅の耐用年数30年からすれば、すでに制度上の要件を満たした状態である。指摘の市営住宅の集約や跡地利用については、益田市公共施設等総合管理計画に基づいて今後検討していきたい。（後日調査のうえ回答）</p> <p>③今後の検討課題として受け止めたい。</p> <p>④今後検討していきたい。</p> <p>⑤本事業は厳しい財政事情や他事業との兼ね合いから直ちに着手することは困難な状況にある。現時点では、国の交付金制度を活用し、平成32～33年度の2か年で対応する予定としているが、申請にかかる国との協議などその後の状況によってはスケジュールの変更もあることご理解願いたい。（後日調査のうえ回答）</p>

⑥ 県立益田工業高校の跡地利用について
市が進める「自転車によるまちづくり」という観点から、旧益田工業高校の跡地を親子で楽しめる自転車遊技場として活用する考えはないか。

⑦ 中山間地域対策について
若者の流出等で地域の人口が減少する中、地元では「これからいかに集落を維持していくか。」という話が出る。今後は現行の地域魅力化応援隊員を小さい集落まで配置できるようにすればよいと思うがいかがか。

⑥自転車競技の五輪キャンプ誘致に向けて、市五輪キャンプ誘致推進室を中心に様々な自転車の啓発活動を行っている。親子で気軽に自転車を楽しむ機会を増やすことは大切なことであるので、いただいたご意見を含め今後検討していきたい。

⑦中山間地域への対策・支援については指摘の点を含め今後も様々な方法を考えてきたいと思う。